スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

【山口県美祢市】
令和５年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業
（運動部活動の地域移行に向けた実証事業）

自治体名	山口県美祢市
担当課名	教育委員会　学校教育課・生涯学習スポーツ推進課
電話番号	０８３７－５２－１１８　　５２－２５６２

１．自治体の基本情報

スポーツ庁

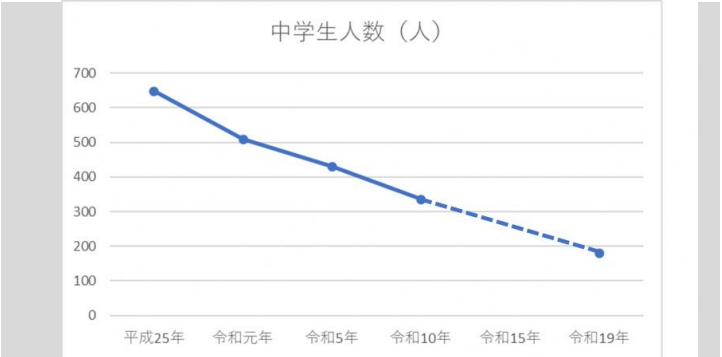
基本情報

人口	２２、１６８人	部活動数	２７部活
公立中学校数	５校	市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
公立中学校生徒数	４３０人	市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定に向けて準備中

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

急激な生徒数の減少に伴い、生徒数、部活動数が減少の一途をたどり、10年前の平成23 年には、市全体で721人、中学校８校あったものが、令和５年現在は、430人、中学校５校であり、５年後の令和10年には生徒数が335人になる見込みである。令和５年は、軟式野球、女子バレーボールが他の学校と合同で活動しており、令和６年の入部がなければ活動の存続が危ぶまれる状況がある。今後この状況はさらに悪化していくと思われる。そのため、１チームの選手数の多い部活動は廃部に追い込まれ、個人種目のある部活動に限定されるなど、生徒の選択肢は少なくなる一方である。中には、中学校進学時に、自分が希望する部活動がないことや選手層の厚い高いレベルでの活動を希望することなどから、市外に転居してしまう家庭や私学を受験して遠くまで通学する生徒もおり、大きな課題の一つとなっている。現在430人の生徒のうち過半数に当たる230名が大嶺中に在籍し、残りの半数以下の生徒200名が他の４校へ通っているという状況がある。１校は中規模、４校はすべて小規模の中学校であり、２つの中学校では部活動の選択肢が２つしかない。また、生徒数の減少は、教員定数の減少にもつながっており、部活動種目の専門性や指導経験のない教員が配置される場合もあり、部活動の運営の困難さも複数見られる。

1市2町が合併した美祢市は広域にわたっており、5つの中学校が点在する中で、生徒が集まるにしても徒歩や自転車は使用できない距離がある。活動の時間帯に使用に適した公共交通機関がない。



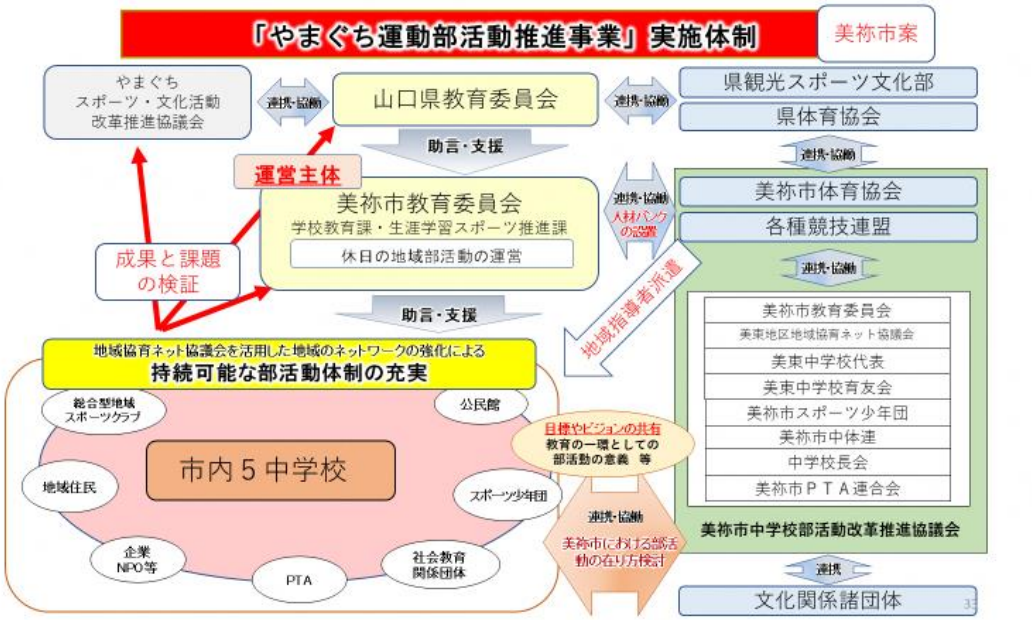
美祢市の部活動改革への取組（現状）

伊佐中　32人	厚保中28人	大嶺中　234人		美東中　86人	秋芳中　50人
卓球 男子	卓球　男子	Sテニス 男子	Sテニス 女子	Sテニス 男子	Sテニス 男子
Sテニス 女子	卓球　女子	バレーボル　男子	バレーボル 女子	バレーボル　女子	バレーボル　女子
野球　混合	野球　混合	陸上　男子	陸上　女子	卓球　男子	卓球　男子
		弓道　男子	弓道　女子	Sテニス 女子	Sテニス 女子
		野球　混合	水泳　混合	卓球　女子	卓球　女子
		吹奏楽混合		野球　混合	野球　混合
				吹奏楽混合	

2．実証内容と成果

運営体制・役割

▼運営体制図（市区町村における推進体制図）



▼行政組織内での役割分担

● **教育委員会**（学校教育課）
- ・指針や推進計画策定
- ・部活動推進協議会の開催
- ・市内校長会との協議及び情報共有、教職員へ方針説明
- ・学校部活動と地域クラブ活動間の連絡調整、指導実績・謝金等
- ・地域クラブ活動受入れ団体、指導者との協議

● **教育委員会**（生涯学習スポーツ推進課）
- ・今後の地域クラブ活動に係る予算関係
- ・参加者連絡アプリ導入と説明会の開催
- ・体育協会との連携（今後の事務局を含めた推進体制）

● **教育委員会**（教育総務課）
- ・休日の地域クラブ活動に係る送迎バス、タクシーの調整
- ・学校備品と地域クラブ活動備品の整理

年間の事業スケジュール

時期	計　画　事　項
4月	校長会での取組説明（校長から教職員・保護者への説明）
	市ガイドライン案作成
5月	地域指導者向け研修会の実施（学校、指導者、教育委員会の情報交換会）
	地域スポーツクラブ活動の活動開始（サッカー、剣道）
	第１回美祢市中学校部活動改革推進協議会の開催
6月	教職員の地域クラブ活動指導の希望調査（随時教職員の兼職兼業の手続き）
	関係協議団体ヒアリング（部活動改革、地域スポーツの今後について） 競技種目指導者との協議（バレーボール、軟式野球、水泳）

2．実証内容と成果

スポーツ庁

年間の事業スケジュール

7月	小・中校長会で説明及び情報交換（令和7年度新チームからの地域スポーツクラブ活動の実施準備）
	競技種目指導者との協議（軟式野球、球卓、弓道）
8月	体験型スポーツイベントの開催（バドミントン、ボルダリング、ゴルフ、スケートボード、硬式テニス、弓道） 保護者説明会開催（軟式野球）　競技種目指導者との協議（卓球、ソフトテニス、陸上競技）
9月	競技種目指導者との協議（卓球、陸上競技、ソフトテニス、バレーボール、軟式野球）　中学校長会で進捗状況説明 保護者説明会開催（弓道）
10月	保護者説明会開催（卓球）　教職員への説明（大嶺中）　軟式野球、弓道　休日の地域クラブ活動開始 競技種目指導者との協議（陸上競技）　教職員への説明（伊佐中・秋芳中・厚保中・美東中） 保護者説明会開催（ソフトテニス）　小・中学校長会で状況説明及び情報交換
11月	競技種目指導者との協議（軟式野球）　大嶺・伊佐・秋芳・厚保中入学予定者保護者説明会 中学校長会で状況説明及び情報交換
12月	美東中入学予定者保護者説明会　協議種目指導者との協議（陸上競技、バレーボール）
	体験型スポーツイベントの開催（ラグビー） 卓球　休日の地域クラブ活動開始　中学校長会で状況説明及び情報交換 第２回美祢市中学校部活動改革推進協議会の開催
1月	次年度に向けた競技種目指導者、団体との協議　剣道、水泳、サッカー、軟式野球（要望、改善点等） 指導者実技講習会（陸上競技）　中学校長会での説明 体験型スポーツイベントの開催（ハンドボール、ダンス）
2月	次年度に向けた指導者、団体との協議　卓球、ソフトテニス、バレーボール、弓道（要望、改善点等） 指導者実技講習会（陸上競技）　中学校長会での説明　学校運営協議会・教育ネットでの説明　厚保中、大嶺中、秋芳中、伊佐中 体験型スポーツイベントの開催（サッカー）　次年度に向けた指導者、団体との協議　ソフトテニス 保護者説明会開催（バレーボール） 拠点校の確認を校長会と共有（弓道、陸上競技、男子バレー、卓球）　合同部活動の確認を校長会と共有（吹奏楽） 第３回美祢市中学校部活動改革推進協議会の開催　市内中体連役員会と情報共有 次年度保護者配布文書作成、保護者説明会Q&A配布
3月	事業報告書・成果報告書等の作成 学年末休業中の地域クラブ活動参加者確認と保険手続き（サッカー、剣道、弓道、卓球） 中学校長会と情報共有及び情報交換

2．実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

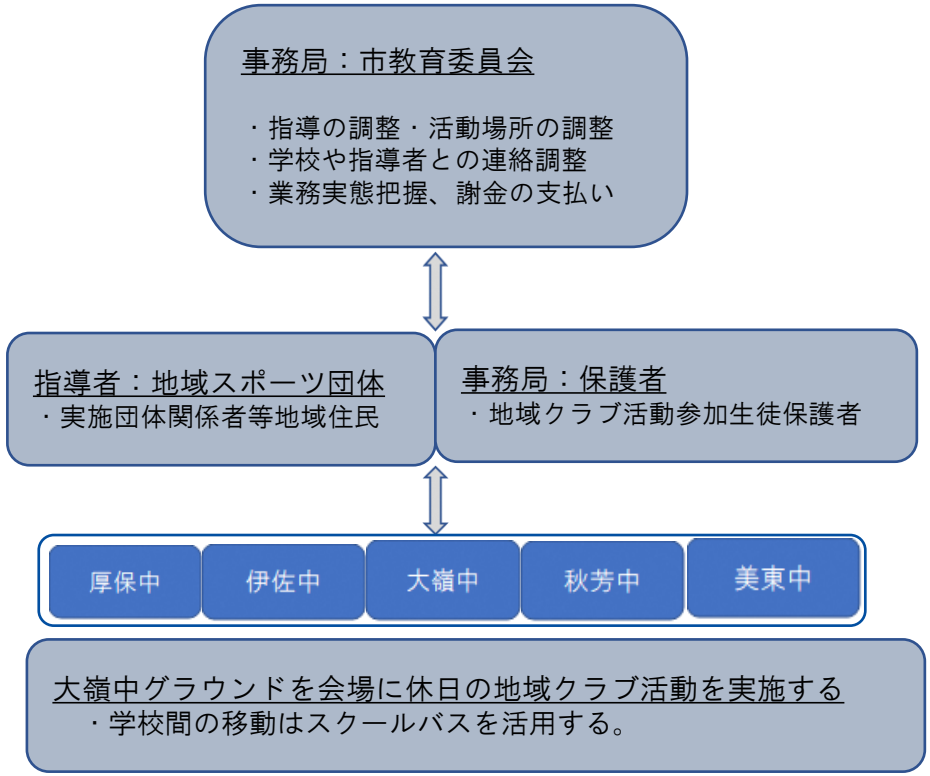
拠点校数	1校	地域クラブ活動に取り組んだ種目	軟式野球
地域クラブ活動に取り組んだ部活動数	5部活		

主な取組例

▼活動概要

拠点校名	大嶺中学校
地域クラブ活動に移行した部活動数	5部活
地域クラブ活動で実施した種目	軟式野球
運営主体名	MINEクラブ
運営類型	市運営型（域団体・人材活用型）
1か月あたりの平均的な活動回数	軟式野球：月1回程度
指導者の主な属性	美祢市野球連盟会員他
活動場所	大嶺中学校グラウンド
主な移動手段	スクールバス
1人あたりの参加会費等（年額）	軟式野球：0円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

▼運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



2．実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

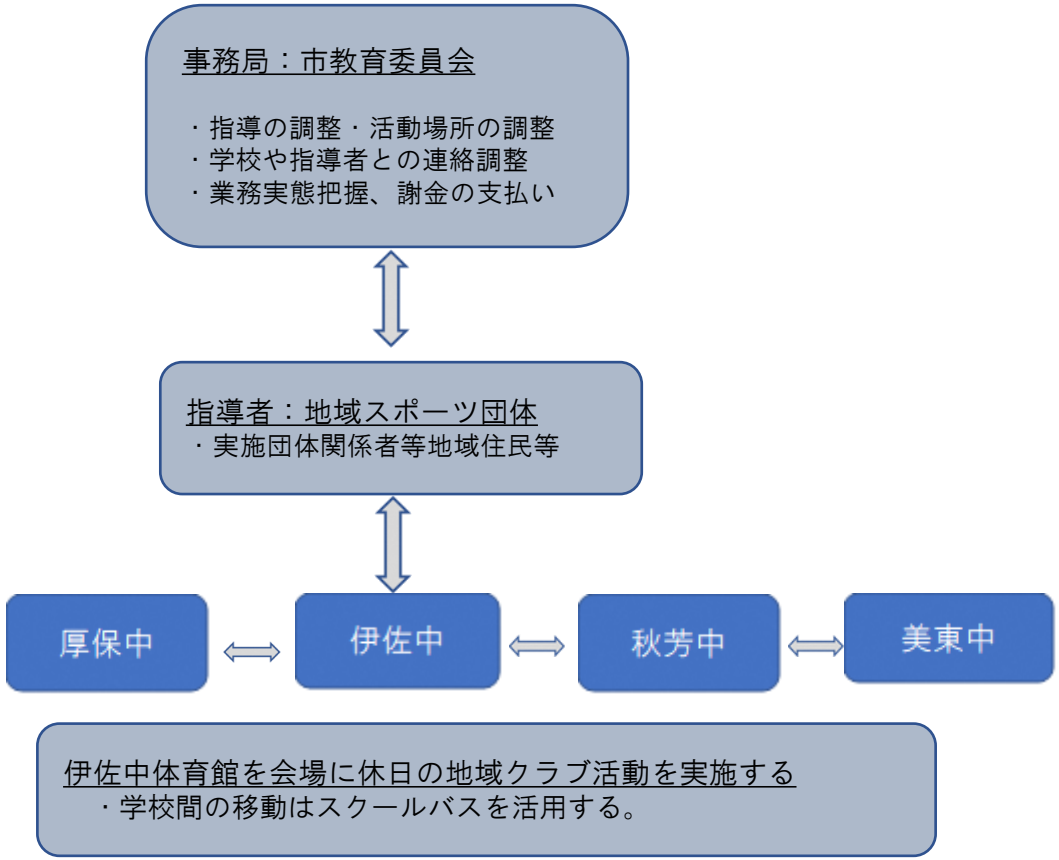
拠点校数	１校	地域クラブ活動に取り組んだ種目	卓球
地域クラブ活動に取り組んだ部活動数	４部活		

主な取組例

▼活動概要

拠点校名	伊佐中学校
地域クラブ活動に移行した部活動数	５部活
地域クラブ活動で実施した種目	卓球
運営主体名	美祢ジュニア卓球クラブ
運営類型	市運営型（域団体･人材活用型）
１か月あたりの平均的な活動回数	卓球：月４回程度
指導者の主な属性	美祢市卓球連盟会員他
活動場所	伊佐小学校体育館
主な移動手段	スクールバス
１人あたりの参加会費等（年額）	卓球：０円
１人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒１人あたり：800円/年 指導者１人あたり：1,850円/年

▼運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



2．実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の運営実績

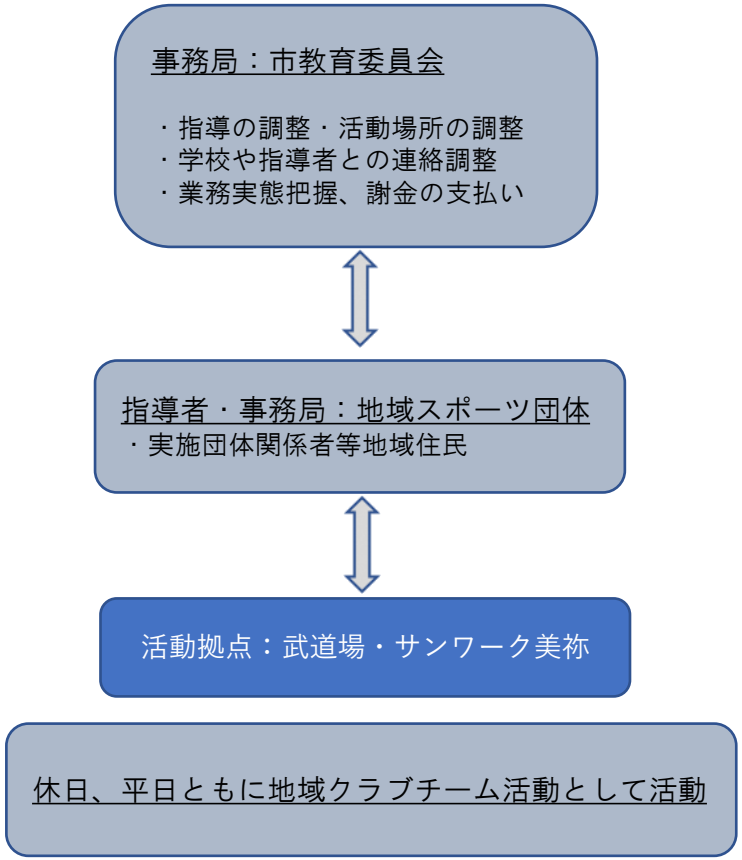
拠点校数	1校	地域クラブ活動に取り組んだ種目	剣道
地域クラブ活動に取り組んだ部活動数	1部活		

主な取組例

▼活動概要

拠点校名	大嶺中学校
地域クラブ活動に移行した部活動数	1部活
地域クラブ活動で実施した種目	剣道
運営主体名	美祢剣道クラブ
運営類型	市運営型（競技団体連携型）
1か月あたりの平均的な活動回数	剣道：休日４回 平日８回
指導者の主な属性	美祢市剣道連盟会員
活動場所	旧大嶺高校記念武道場、サンワーク美祢
主な移動手段	保護者送迎 令和６年度から休日はスクールバスによる送迎
1人あたりの参加会費等（年額）	会費：０円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒１人あたり：800円/年 指導者１人あたり：1,850円/年

▼運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



2．実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

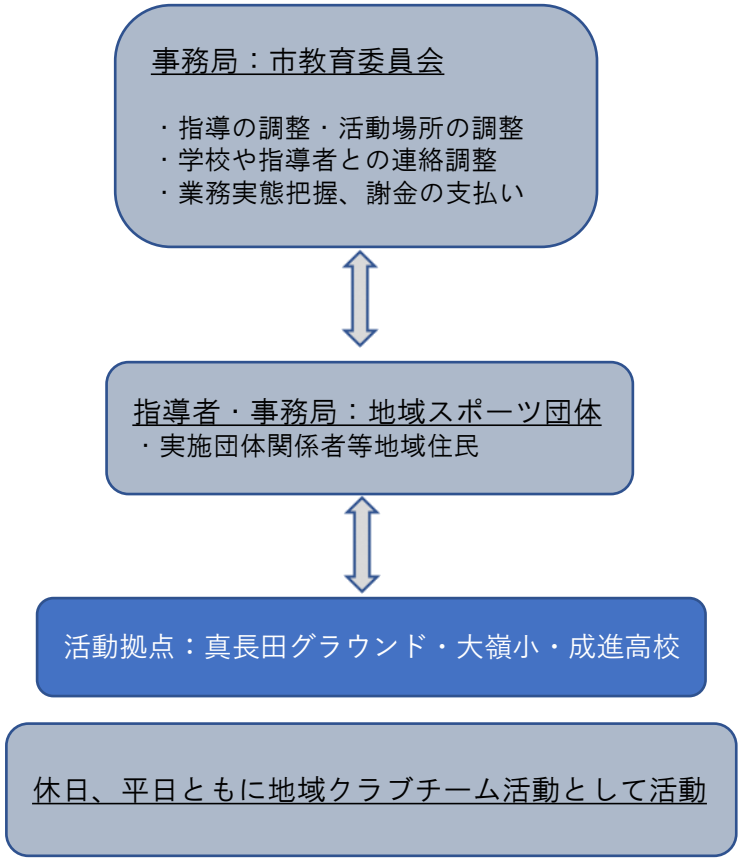
拠点校数	１校	地域クラブ活動に取り組んだ種目	サッカー
地域クラブ活動に取り組んだ部活動数	１部活		

主な取組例

▼活動概要

拠点校名	美祢サッカースクールU-15
地域クラブ活動に移行した部活動数	希望者は市内全域から
地域クラブ活動で実施した種目	サッカー
運営主体名	美祢サッカースクールU-15
運営類型	市運営型（競技団体連携型）
１か月あたりの平均的な活動回数	サッカー：休日4回 平日8回
指導者の主な属性	美祢市サッカー協会
活動場所	真長田総合グラウンド、大嶺小、成進高校
主な移動手段	保護者送迎 令和６年度から休日はスクールバスによる送迎
１人あたりの参加会費等（年額）	会費：２００円/回
１人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒１人あたり：800円/年 指導者１人あたり：1,850円/年

▼運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



2．実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

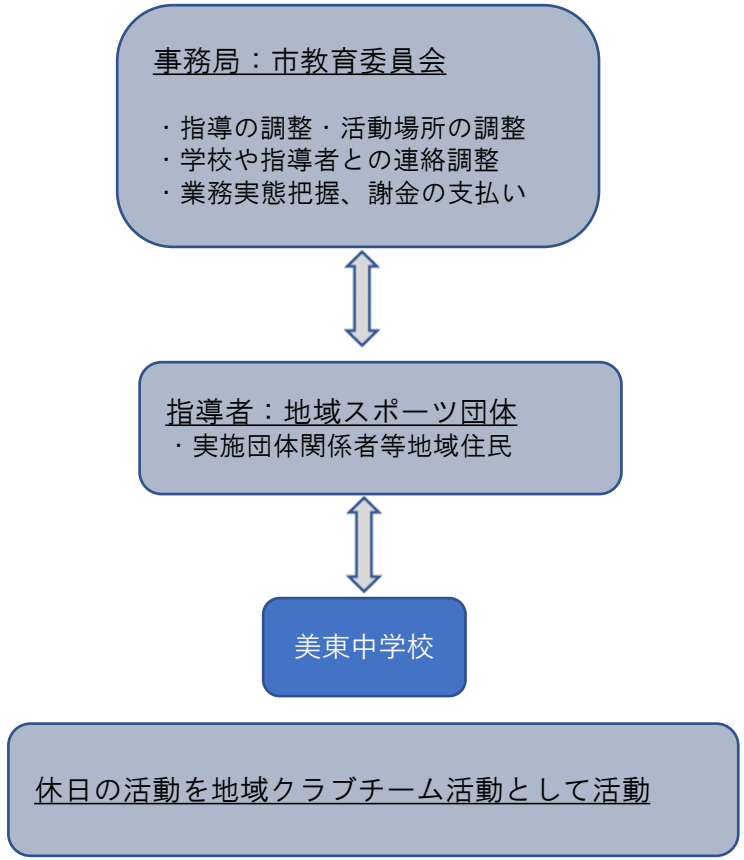
拠点校数	１校	地域クラブ活動に取り組んだ種目	ソフトテニス
地域クラブ活動に取り組んだ部活動数	１部活		

主な取組例

▼活動概要

拠点校名	美東中学校
地域クラブ活動に移行した部活動数	2部活
地域クラブ活動で実施した種目	ソフトテニス
運営主体名	美祢市ソフトテニス連盟
運営類型	市運営型（競技団体連携型）
１か月あたりの平均的な活動回数	ソフトテニス：休日４回
指導者の主な属性	美祢市ソフトテニス連盟
活動場所	美東中学校テニスコート
主な移動手段	スクールバス等
１人あたりの参加会費等（年額）	会費：０円
１人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒１人あたり：800円/年 指導者１人あたり：1,850円/年

▼運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



2．実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

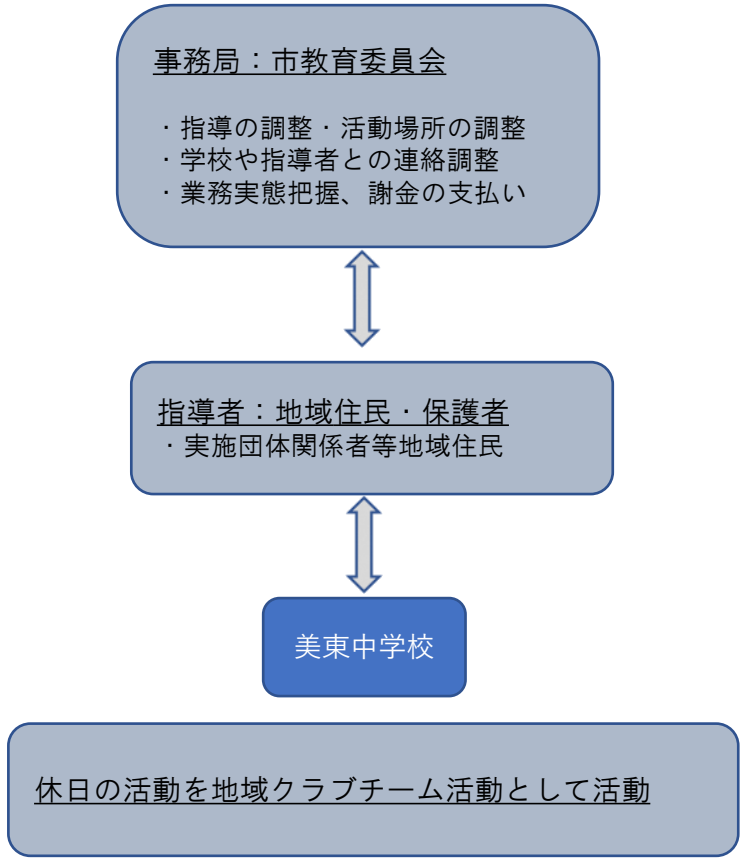
拠点校数	１校	地域クラブ活動に取り組んだ種目	バレーボール
地域クラブ活動に取り組んだ部活動数	１部活		

主な取組例

▼活動概要

拠点校名	美東中学校
地域クラブ活動に移行した部活動数	2部活
地域クラブ活動で実施した種目	バレーボール
運営主体名	保護者
運営類型	そのた型（その他の類型）
１か月あたりの平均的な活動回数	バレーボール：休日４回
指導者の主な属性	美祢市ソフトテニス連盟
活動場所	秋芳中学校体育館、美東中学校体育館
主な移動手段	保護者送迎等
１人あたりの参加会費等（年額）	会費：０円
１人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒１人あたり：800円/年 指導者１人あたり：1,850円/年

▼運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



2．実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

▼取組項目名：ア．関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

現在美祢市内にある学校部活動の競技連盟や競技協会と随時、地域移行に関する協議会を開催する。その協議を通じて受け入れ団体や指導者を選定していく。中体連主催の大会へ参加しているサッカーと剣道についても、地域クラブ活動として、受け入れ団体として位置付ける。
バレーボールについては市のバレーボール連盟が事務局機能を担い、指導者については地域住民や他市からの指導者を招いている。ソフトテニスについては指導者をソフトテニス連が担っている。このように各競技によって実態に応じながら、できることを模索しながら取り組んでいる。

取組の成果

市内にある各競技団体が中心になった受け入れ団体、指導者が見つかった。種目によっては、保護者説明会の中で上がってきた情報をもとに、新たな指導者が見つかったものもある。「卓球は」4校に設置された部活動であるが、団体戦への出場は単独ではできない部員数（いずれも6名に満たない）しかし、地域クラブ活動としての活動は20名近い人数となり、平素の各中学校の練習に比較して活気がでた。
「軟式野球」でも美東中は部員が2名であり、同様の成果がみられる。

卓球の部員数			軟式野球の部員数
伊佐中	男子3名		伊佐中　5名
厚保中	男子3名	女子5名	厚保中10名
秋芳中	混成4名		秋芳中11名
美東中	女子5名		美東中 2名
			大嶺中13名

特に工夫した事項

受入れ団体、指導者が決まった競技種目ごとに保護説明会を開催した。
各中学校区毎に地域説明会を開催した。
各種目ごとに保護者説明会の内容を文書で配布した。
月刊の「部活動通信」の配布をした。

年間の事業スケジュールによる

今後の課題と対応方針

現在5校にあり、中体連の大会へ出場している部活動を地域クラブ活動へ移行させる計画としている。軟式野球、サッカー、剣道、弓道、バレーボール、卓球、水泳、ソフトテニスについては受け入れ団体指導者が確定できたので、あとは陸上競技について受け入れ団体、指導者を確定させる必要がある。軟式野球は指導者を支える事務局機能を保護者が担っているが、適切な公的支援が必要である。

2．実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

▼取組項目名：イ：指導者の質の保証・量の確保

取組事項

市内の各競技連盟、協会と連携を図る。
中学校単位で地域説明会を開催し、その中で地域におられる人材発掘につなぐ。
学校運営協議会、地域共育ネット会議へ出席し、地域人材の情報共有をお願いする。
指導者の実技講習会を開催し、指導者候補のスキルアップを図る。（陸上競技で２回実施）

取組の成果

令和５年から令和７年を、学校部活動の改革推進期間と位置づけ、令和７年のチームから、完全地域移行を目途としている。令和５年度末の段階で、９種目１０チームについては、休日午前中の活動の受入れ団体・指導者を確保できた。
令和７年度までに、陸上競技に関する受入れ団体・指導者を確保する必要がある。
日の夜間であれば、受け入れの可能性がある団体が存在する。

競技種目	指導団体	公認コーチ資格
水泳	◎	◎
サッカー	◎	◎
剣道	◎	◎
弓道	◎	◎
軟式野球	◎	◎
バレーボール	◎	なし
卓球	◎	なし
ソフトテニス	◎	なし
陸上競技	未定	未定

特に工夫した事項

人口減少、住民の高齢化が進んだ地域であり、指導者の絶対数が少ない。
状況に応じて準備ができた種目から進めている。競技種目によって状況が大きく違うので、受け入れ団体や指導者の都合に合わせた活動時間になる場合も生じる。適切な休養日等の設定については、生徒の心身の成長等に配慮し、学校部活動における基準を基本的に準用しているが、平日の学校部活動と休日の地域クラブ活動の組み合わせの工夫など、休養日や活動時間の基準を原則とし、休養日等の設定の趣旨を逸脱しない範囲で、柔軟な対応が行われることも考えている競技種目がある。（軟式野球）

軟式野球は土・日の練習は指導者が見つかったが、平日は各学校で地域住民の協力をお願いすることが必要となっている。

今後の課題と対応方針

中体連主催の大会の参加資格、公認コーチ資格１の取得をすべての競技種目で有資格者としていきたいが、その場合、受講料や旅費等の支援が必要となる。また、令和５年度末の段階で、令和６年度県内で種目ごとの講座が開設されるか不確定である。
休日の指導者は確保できているが、完全移行後、平日の活動を充実させるための方策が必要。

2．実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

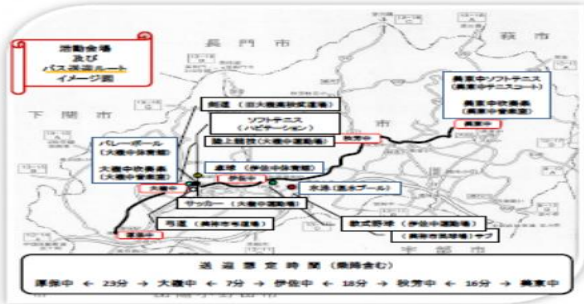
▼取組項目名：キ：学校施設の活用等

取組事項

市内5校の学校施設を地域クラブ活動の活動場所として使用することは、部室など道具の管理や学校部活動備品の効果的な活用の面で利点がある。競技種目ごとにバランスよく活動拠点を定めることで雨天時の活動場所が重なることを避けることもできた。学校間の移動には、それぞれの学校が登下校で使用するスクールバスを活用した。比較的に中心部にある2つの学校のグラウンドや体育館を活動拠点とした。
令和5年度「軟式野球」活動拠点は大嶺中学校グラウンド、「卓球」活動拠点は伊佐中学校体育館を活動場所として活用した。

取組の成果

市が保有するスクールバスを効果的に活用することで、休日の活動に参加を希望する生徒の送迎を行うことができた。保護者の経済的負担を軽減することにつながっている。
競技種目の活動拠点が定めることで、今後必要な支援や環境整備の計画、見通しが立てられる。



特に工夫した事項

スクールバスの運行時刻、地域クラブ活動時間、５校の中学校校の登下校時刻を調整することで、休日の地域クラブ活動の活動時間を３時間確保できるように目指している。
参加者や指導者、スクールバス、タクシー運行会社が簡易に連絡を取り合えるアプリの導入を考えている。現在は、各学校の部活計画を地域指導者へ共有することで調整を図っている。

種目別活動会場等一覧表

種目	活動会場		道具等管理場所
	晴天時	雨天時	
剣道	サンワーク	サンワーク	サンワーク
サッカー	真長田グラウンド	未定	真長田グラウンド
弓道	美祢市弓道場	美祢市弓道場	旧大嶺高校弓道場
水泳	温水プール	温水プール	温水プール
ソフトテニス①	美祢市中央公園	未定	美祢市中央公園
ソフトテニス②	美東中テニスコート	美東中体育館	美東中部室
軟式野球	伊佐中グラウンド	伊佐中体育館	伊佐中部室
卓球	伊佐中体育館	伊佐中体育館	伊佐中部室
バレーボール	大嶺中体育館	大嶺中体育館	大嶺中部室
陸上競技	大嶺中グラウンド	大嶺中スペース	大嶺中部室
吹奏楽①	大嶺中音楽室	大嶺中音楽室	大嶺中音楽室
吹奏楽②	美東中音月室	美東中音月室	美東中音月室

今後の課題と対応方針

教職員が兼職兼業で地域クラブ活動へ参加している軟式野球は鍵の管理等ができるが、教員が関わっていない卓球については指導者が鍵の管理を行っている。今後、競技種目や会場の状況に応じて学校施設の改良も必要になる場合が生じる。

2．実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

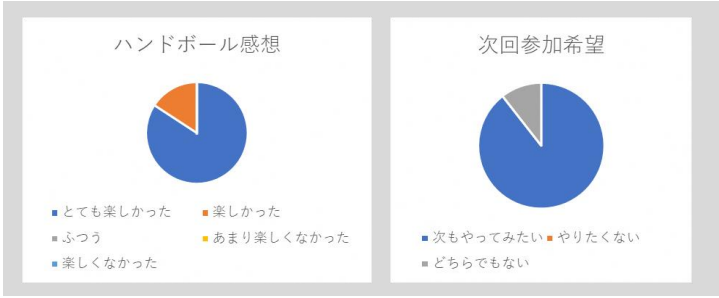
▼取組項目名：ク：その他の取組

取組事項

体験型スポーツイベントの開催
現在、存続を目指している９種目に限らず、生徒が普段学校部活動では経験できないスポーツ種目に接する機会を設けた。
実施種目：バドミントン、ボルダリング、弓道、スケートボード、ゴルフ、硬式テニス、ラグビー、ダンス、サッカー、ハンドボール
それぞれ半日単位の開催。

取組の成果

生徒にとって普段経験できない競技種目にふれる機会となった。
参加自由の募集という形をとったので、潜在的な生徒のニーズを把握できる。
好評なものや参加者の多い種目はシリーズ化も考えられる。
参加した生徒のアンケートを見ると、参加者にはおおむね好評であった。



特に工夫した事項

各種目、指導者は地元実業団など専門性の高い方にお願いした。
生徒が参加しやすいように夏季・冬季の長期休業中に開催した。
会場へ距離があり、自力参加が困難な生徒は事務局が送迎を行った。



今後の課題と対応方針

生徒の参加しやすさを優先して、本年度は夏季休業中に6種目開催したが、熱中症等の対応が必須となった。運動に適した季節の週休日に開催することも考えられる。今後、学校部活動が完全地域移行し、地域クラブ活動が週3日になった場合の生徒の受け皿、多様な経験の機会となることを期待している。

2．実証内容と成果

スポーツ庁

参考資料（アンケート結果、広報物、協議会等で使用した資料の抜粋等）



MINE 部活動改革通信　第１号　美祢市教育委員会　2023.07.20

「部活動」から「地域クラブ活動」へ

子どもたちに、多様なスポーツ・文化活動の選択肢を！

地域と子どもたちのふれあいのある活動を！

学校の枠を超えた仲間づくりを！

地域の文化・スポーツ活動の活性化を！

地域・学校・保護者・行政・企業等みんなで協力して、生涯スポーツ・文化活動につながる地域クラブ活動を作りましょう！

※地域クラブ活動とは・・・地域の運営団体・実施主体による地域スポーツクラブ活動及び地域文化クラブ活動のこと。（令和４年12月　スポーツ庁・文部科学省通知より）

≪今後のスケジュール（目標）≫

令和５年度　令和６年度　令和７年度

学校部活動　平日の学校部活動 土日の地域クラブ活動　地域クラブ活動

○令和５年度から順次「休日の部活動を地域クラブ活動」へ移行します。
○令和７年度から、平日の活動も含めた「地域クラブ活動」を目指します。
※剣道・サッカーは既に地域クラブ活動へ移行しています。

お知らせ

・地域クラブ活動の指導団体等が決まった種目から、順次保護者説明会を開催します。
・開催時期・対象者は種目により異なります。
・開催前には学校を通じて保護者宛文書をお送りいたしますのでご確認ください。

よろしくお願いします。

問い合わせ先　0837-52-1118（学校教育課）



MINE 部活動改革通信　第２号　美祢市教育委員会　2023.09.01

「Ｍチャレ」の取り組み紹介

文化　スポーツ

○調理 ○手芸 ○華道 ○絵画 ○舞踊 ○陶芸

○バドミントン ○ボルダリング ○ゴルフ ○スケートボード ○テニス ○弓道

夏休みに、美祢市では中学生を対象に「Ｍチャレ」を開催しました。様々な文化・スポーツ活動に触れる取り組みで、たくさんの中学生が参加しました。

「地域クラブ活動Ｑ＆Ａ」

Q:なぜ部活動を地域クラブ活動に移行するの？
美祢市では現在、急激に子どもの数が少なくなっており、そのため１つの学校で部活動を行うにしても人数が足りないなどの状況があります。
地域クラブ活動にすることで、学校の枠を超えて、子どもたちが様々な活動の中から自分に合った活動を選ぶことができるようになると考えています。

Q:地域クラブ活動のメリットは何？
○様々な活動の中から選ぶことができる
○専門的な指導を受けることができる
○学校の枠を超え、仲間ができる
○地域の方と触れ合うことができる

○地域クラブ活動のデメリットは？
△活動場所までの移動方法が必要になる
△地域の指導者が必要になる
△これまでより経済的な負担が出てくる（交通費、保険、活動費など様々な経費）

子どもたちにとって、地域にとってよりよい地域クラブ活動となるには、地域・学校・保護者・行政・企業等みんなの協力が必要です。みんなで協力して、より良い活動を作っていきましょう。

問い合わせ先　0837-52-1118（学校教育課）



MINE 部活動改革通信　第３号　美祢市教育委員会　2023.10.15

保護者説明会を開催しています

活動種目ごとに、現在保護者説明会を実施しています。ここで得られた保護者の皆様からの御意見をもとに、より良い部活動改革を目指します。

「子どもと一緒に活動に取り組んでみたいな」という素敵な声も聴かれました

今後の基本スケジュール
保護者の皆様の御意見も参考に、今後の地域移行の基本スケジュールを作成しました。

※剣道・サッカーは、令和５年度から完全に地域クラブ活動に移行しています。
※軟式野球は、令和６年度の新チームから平日も含め地域クラブ活動に移行する予定です。

	R5年度	R6年度	R7年度
（地域移行クラブ活動）	（土／毎週）	（土／毎週）	（土／毎週）
練習日	学校からの距離を考慮して決定		
練習場所	（指導者の希望も考慮する）	地域・保護者・学校	（基本２日／週）
指導者	地域活動指導員	地域活動指導員	見守り・手伝い
その他	（教員の兼職兼業含む）	（教員の兼職兼業含む）	各学校
（学校部活動）	学校部活動（４日／平日）	学校部活動（2～4日／平日）	学校部活動終了
練習日	各中学校練習計画による	各中学校練習計画による	
練習場所	各学校	各学校	
指導者	各顧問教員	各顧問教員	
その他			

お知らせ
完全に地域クラブ活動となった場合に、平日の子どもたちの活動のお手伝い（見守り）の協力が必要となります。
子どもたちの活動を地域ぐるみで支えていけるように、皆様の御協力をお願いします。

問い合わせ先　0837-52-1118（学校教育課）



MINE 部活動改革通信　第４号　美祢市教育委員会　2023.11.15

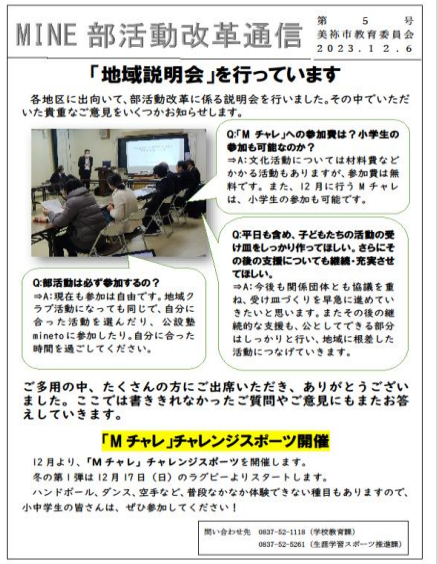
休日の部活動地域移行が全中学校区に拡大しています

軟式野球部（合同）　弓道部（大嶺中）　吹奏楽部（大嶺中）

どの種目も、地域指導者の専門的な指導の下、子どもたちは一生懸命に活動していました。今後も準備が整った種目から順次土曜日の活動から地域活動に移行していきます。

小学校５・６年生保護者様向けの説明会を開催します
11月27日より、中学校区ごとに、これから中学校へ入学する小学校5･6年生の保護者の皆様を対象にした部活動の地域移行に関わる説明会を開催します。
子どもたちにとって、より良い活動にできるよう、皆様からのご意見をお待ちしています。ぜひご参加ください。
11/27：大嶺中校区（美祢市民会館）
11/28：伊佐中校区（伊佐公民館）
11/29：秋芳中校区（秋吉公民館）
11/30：厚保中校区（厚保公民館）
12/ 4：美東中校区（美東センター）
○開催時間はいずれも１８：３０～１９：３０です
○中学校区ごとに開催しますが、参加者のご都合に応じてどの会場でも参加可能です

地域の方の参加も可能です。興味のある方は、ぜひお越し下さい。



MINE 部活動改革通信　第５号　美祢市教育委員会　2023.12.6

「地域説明会」を行っています

各地区に出向いて、部活動改革に係る説明会を行いました。その中でいただいた貴重なご意見をいくつかお知らせします。

Q:「Ｍチャレ」への参加費は？小学生の参加も可能なのか？
⇒A:文化活動については材料費などかかる活動もありますが、参加費は無料です。また、12月に行うＭチャレは、小学生の参加も可能です。

Q:平日も含め、子どもたちの活動の受け皿をしっかり作ってほしい。さらにその後の支援についても継続・充実させてほしい。
⇒A:今後も関係団体とも協議を重ね、受け皿づくりを早急に進めていきたいと思います。またその後の継続的な支援も、公としてできる部分はしっかりと行い、地域に根差した活動につなげていきます。

Q:部活動は必ず参加するの？
⇒A:現在も参加は自由です。地域クラブ活動になっても同じで、自分に合った活動を選んだり、公設塾mineto に参加したり。自分に合った時間を過ごしてください。

ご多用の中、たくさんの方にご出席いただき、ありがとうございました。ここでは書ききれなかったご質問やご意見にもまたお答えしていきます。

「Ｍチャレ」チャレンジスポーツ開催

12月より、「Ｍチャレ」チャレンジスポーツを開催します。
冬の第１弾は12月17日（日）のラグビーよりスタートします。
ハンドボール、ダンス、空手など、普段なかなか体験できない種目もありますので、小中学生の皆さんは、ぜひ参加してください！

問い合わせ先　0837-52-1118（学校教育課）
0837-52-5261（生涯学習スポーツ推進課）



MINE 部活動改革通信　第６号　美祢市教育委員会　2024.2.5

休日の地域クラブ活動が広がっています

地域クラブ活動の指導者のご協力のもと、休日の地域クラブ活動がいろいろな種目で始まりました。

卓球の活動の様子

軟式野球部では、雨の日用の練習メニューで指導していただきました。

土曜日の地域クラブ活動では、美祢市のスクールバスを有効活用して、複数の中学校生徒が、１か所に集まって活動を行っています。

「Ｍチャレ」チャレンジスポーツ開催しました！

地域での説明会でたくさんのご質問をいただいた「Ｍチャレ」。12月から２月にかけて、「チャレンジスポーツ」を行いました。寒い中でしたが、スポーツを楽しむことができました。参加してくれた児童、生徒の皆さん、ご指導いただいた指導者の先生方、ありがとうございました。

12月17日　ラグビー
1月14日　ハンドボール
1月21日　ダンス
2月4日　サッカー

問い合わせ先　0837-52-1118（学校教育課）
0837-52-5261（生涯学習スポーツ推進課）

令和７年度地域クラブ活動　平日の活動について　R6.2.14現在

種　目	指　導　者	休　日	平　日	
剣道	美祢剣道連盟	週１回		美祢剣道連盟による指導
サッカー	美祢サッカー協会	週１回		美祢サッカー協会による指導
軟式野球	地域指導者	週２回	①美東中以外４校自主練習	美東中 地域指導者による指導
ソフトテニス	美祢ソフトテニス連盟	週１回	②伊佐・大嶺・秋芳中 自主練習	
ソフトテニス（美東）	地域指導者	週１回		美東中 地域指導者による指導
卓球	地域指導者	週１回	③伊佐・厚保・秋芳中 自主練習	美東中 地域指導者による指導
弓道	美祢市弓道連盟	月１回	④大嶺中 自主練習	
バレーボール	地域指導者	週１回	⑤大嶺・秋芳中 自主練習	美東中 地域指導者による指導
陸上競技	未定 美祢市陸協 他	週１回	⑥大嶺中 自主練習	
吹奏楽	地域指導者	週１回	⑦大嶺中 自主練習	
吹奏楽　（美東）	地域指導者	週１回		美東中 地域指導者による指導
水泳	JSA美祢	週２回		JSA美祢による指導

【月刊のMINE部活動改革通信で広く市民の方へ情報をお知らせしています】

【今後の課題について部活動改革推進協議会で協議を行いました】

2．実証内容と成果

参考資料（活動写真）



【卓球　休日の地域クラブ活動の様子】



【弓道　休日の地域クラブ活動の様子】



【軟式野球　休日の地域クラブ活の様子】



【美東中　ソフトテニス　地域クラブ活動の様子】

2．実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和４年		令和５年		令和６年	令和７年
協議会設置、拠点校において実践研究を実施	美東中）受け皿団体や指導者の選定、拠点校の選定	学校現場との調整	生徒、保護者への説明	地域クラブ活動の開始	地域クラブ活動の拡大

●美祢テニス連盟
●経過　連盟と協議
●実施にあたって生じた課題
　地域指導者と部活顧問の指導方針の擦り合わせ
●実施内容、工夫した点　等
　年度初めに協議の機会を設ける。
●美祢市卓球連盟他
●基本的にすべての競技種目の連盟や協会の推薦を得る。
●実施に当たって生じた課題
　指導者の絶対数不足
●実施内容、工夫した点　等
　小学生対象の体験会の開催
●スポーツ少年団中等部
●軟式野球関係者協議会
●実施にあたって生じた課題
　地域移行実施時期の課題
●実施内容、工夫した点等
　事務局機能を担う保護者会

●ステークホルダー
市内中学校教職員
●経過
市としての地域移行の方針や方向性を市内中学校教職員と共有しておく必要性がある。
●実施にあたって生じた課題
場の設定
●実施内容、工夫した点　等
コーディネーターが各中学校の職員会議の時間を活用し、説明して回る。ほぼ同じ時期に回ることで、情報の時間差を軽減させる。

●ステークスホルダー
市内中体連役員
●経過
進捗状況や令和６年度の活動について各部活顧問と情報共有の必要性があり、事前に関係者へ周知した。

●ステークホルダー
各競技種目　生徒保護者
各競技種目　５・６年保護者
●経過
受入れ指導者、団体が決まった競技種目から保護者説明会を開催した。
●実施にあたって生じた課題
競技種目より参加者数の多寡
●実施内容、工夫した点　等
協議内容について後日紙面で関係者へ配布する。
●ステークホルダー
地域住民
●保護者だけでなく広く地域へ情報を発信していく
●実施内容、工夫した点　等
月刊の部活動改革通信の発行、地域テレビ放送局の活用、中学校区、公民館単位で説明会を開催する。

令和６年度以前より休日・平日を含め地域クラブ活動をしていた競技種目
　サッカー・剣道

令和５年度の途中より休日の地域クラブ活動が始まった競技種目
（令和４年度実践研究を除く）
　軟式野球、卓球、弓道

令和６年度より休日の地域クラブ活動が始まる競技種目
水泳、バレーボール、ソフトテニス

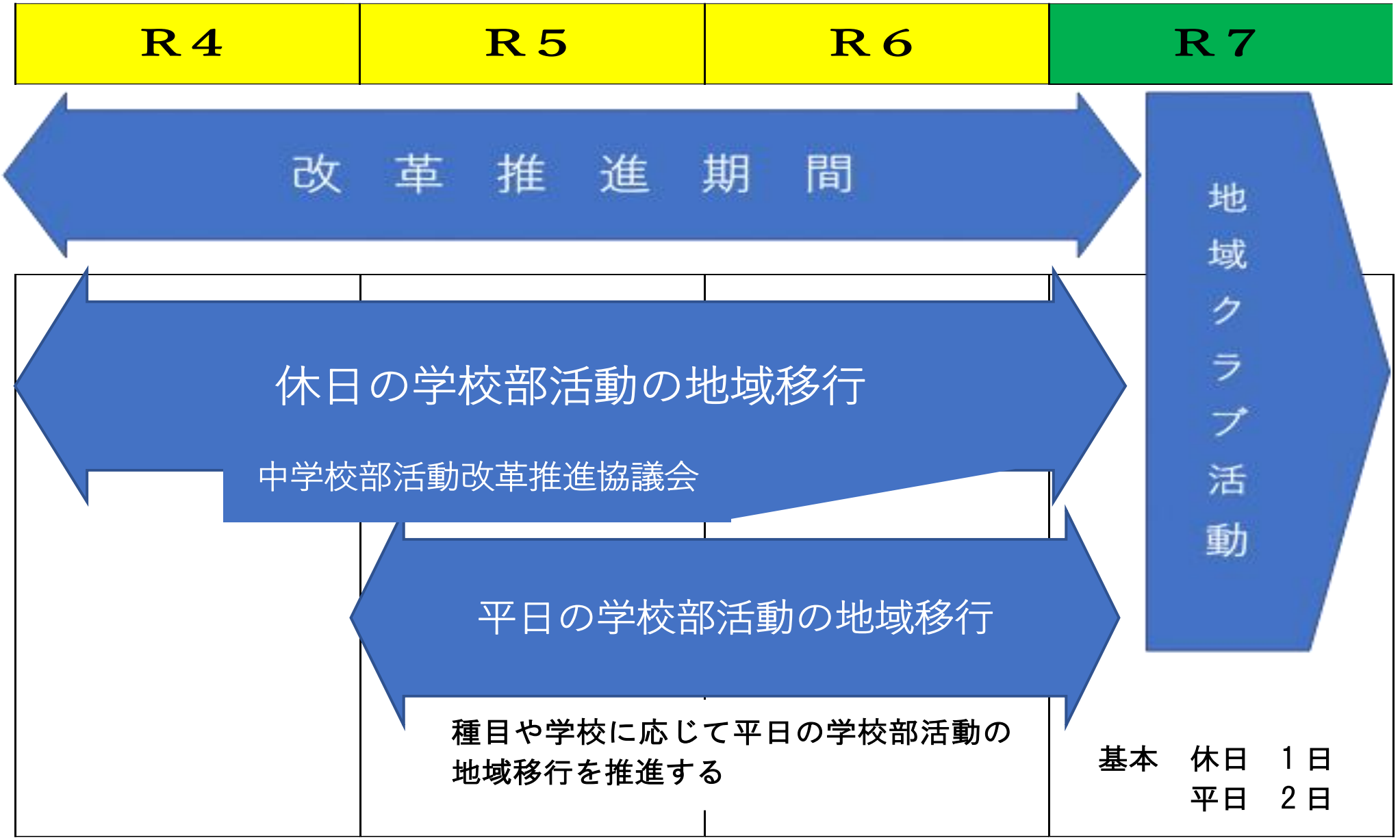
令和６年度からの休日の地域クラブ活動が決まっていない競技種目
陸上競技

令和７年度新チームから休日・平日含め地域クラブ活動へ完全移行させる。
基本、休日１日・平日２日の活動予定

3．今後の方向性

スポーツ庁

地域連携・地域移行の推進に向けた今後のロードマップ



※令和7年度からは吹奏楽を含め10種目の地域クラブ活動を予定しています。